**広報広聴協議会 広聴部会視察報告**

令和6年1月11日に滋賀県彦根市議会への視察を行いました。

**議会広聴に関する取り組み**

「滋賀大学との連携」「議会報告会の取り組み」「シール形式でのアンケート」など、議会広聴に関する取り組みを研究しました。

　彦根市議会も本市議会と同様、議会報告会の参加者が減少していることから、各種団体を対象とした意見交換を中心に行っていました。しかし、一般市民の声が聴けていないということから、市民が気軽に参加し、意見を出すことができるように、ワールドカフェ方式の「カタリバ」を開催し、ファシリテーターは滋賀大学の学生が行っているとのことでした。

　また、大型ショッピングセンターへ出向き、クイズを活用したオープン型の報告会を行ったり、多くの来場者が見込まれる「彦根ゆかたまつり」の会場でブースを設置し、シール形式でのアンケートも行っていました。

　彦根市議会は、平成29年8月1日に滋賀大学経済学部との連携及び協力に関する協定書を締結しています。協力事項は、滋賀大学経済学部における教育・研究活動と、彦根市議会における広報・広聴活動等の双方の充実・発展に関する事業とのことです。連携により、学生が議会だよりや広報紙の作成に関わることで、学生目線の新たな気づき、発見があるとのことでした。

　また、議員インターンシップを実施し、5人の議員がそれぞれ1～2人の学生を1カ月半受け入れ、議員の活動内容を見てもらっています。

　今回の視察から、議会報告会を固定的に捉えることなく、議会側から出向き、ワールドカフェ方式での意見交換を行うことは、効果があると感じました。本市議会においても、多くの人が集まる場所でのクイズ方式やシール形式でのアンケート調査など、新しい取り組みを取り入れていきます。

画像キャプション：彦根市議会のシール形式アンケート調査